

# ヒノキプレーナー屑による果樹の凍害防止

## ヒノキのプレーナー屑を用いた果樹凍害防止資材の開発

### 【背景・目的】

モモなどの果樹の若木については、早春の低温の影響と考えられる樹勢衰弱や枯死被害が拡大傾向にあります。これにより、生産量の減少や生産意欲の低下につながり、深刻な問題となっています。この凍害防止策として稲わらを主幹部に巻く方法が知られていますが、巻き付け作業の煩雑さなどから十分に対策が取られていないことが多く、容易に取り付けられる凍害防止資材の開発が望まれていました。



図1 凍害により枯死したモモ若木

このような背景から、農業研究所と共同でヒノキのプレーナー屑を用いた凍害防止資材を開発しました。

### 【成果の内容】

#### 1 凍害防止資材の製造

被覆材としてホームセンター等で容易に入手可能な透湿防水シートを用いて細長い筒状の袋を作成し、ヒノキのプレーナー屑をスクリュウコンベアにより充填して製造しました。

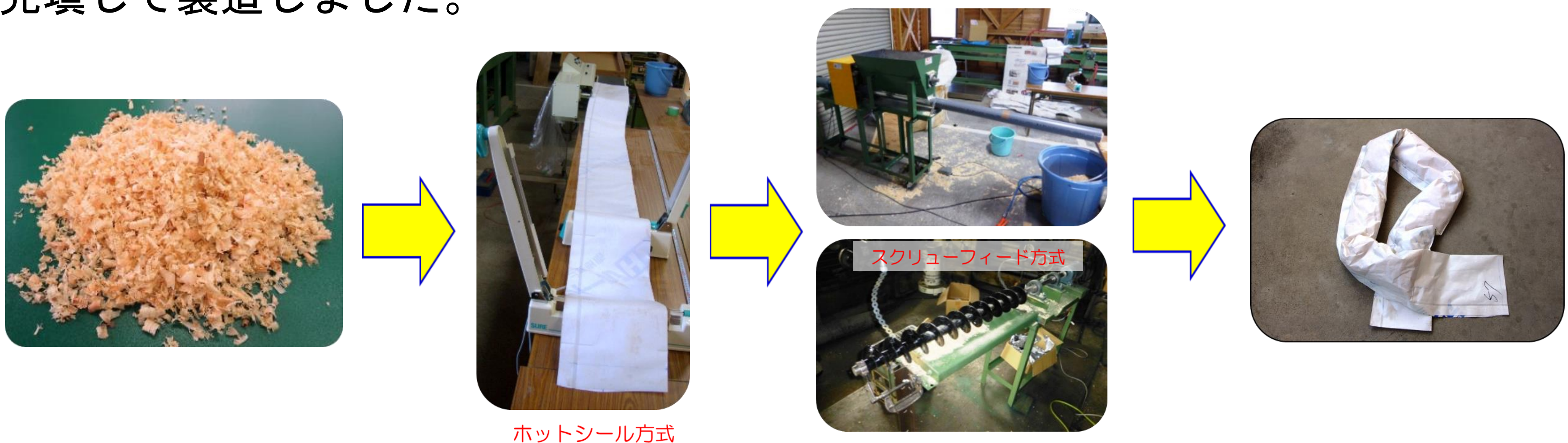
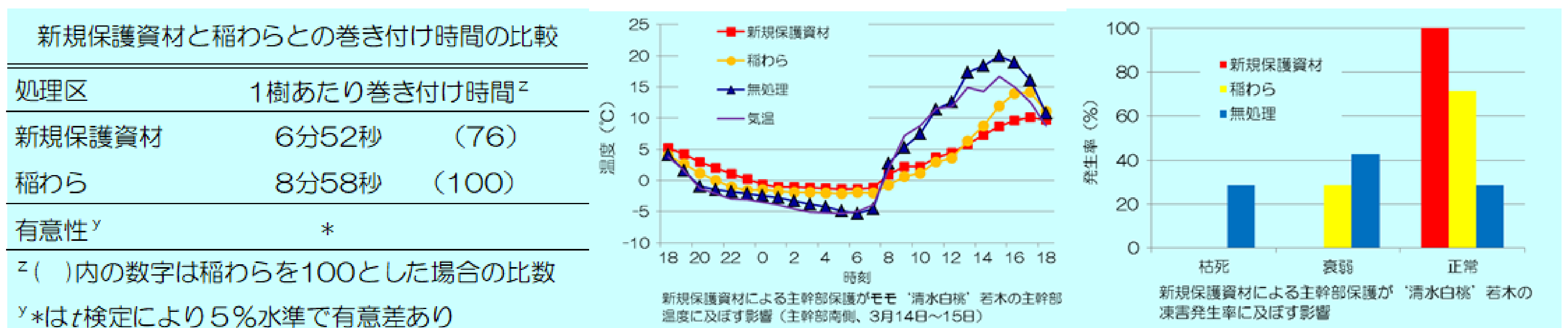


図2 凍害防止資材の製造方法

#### 2 凍害防止資材の性能

ヒノキのプレーナー屑を用いた凍害防止資材は、稲わらとほぼ同等の保温および凍害回避効果が認められました。

巻き付けも稲わらよりも手早く巻き付けることができました。



※2015年9月2日に実用新案登録（第3200112号）

※現在、県内の木材業者が商品名：ホワイトスネークで製造・販売を行っています。

お問い合わせ先

岡山県農林水産総合センター 森林研究所 木材加工研究室  
真庭市勝山1884-2 TEL. 0867-44-3367